

平成 30 年（2018 年）12 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（2 日目）

平成 30 年 12 月 12 日（水）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	新 垣 淑 豊 (自 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 国際通りの 美化・治安に ついて 2 感染症対策 について 3 空き地につ いて 4 うちなーぐ ち普及啓発に ついて 5 那覇市歌に ついて	(1) 国際通りに不法に投棄されているゴミが増えていることや観光客増に伴い、商店街から犯罪抑止のための防犯カメラの設置が要望されているが、那覇市は以前、運用の定めがないという理由で内閣府の補助金活用した防犯カメラ設置を行わなかった経緯があるが、現在の状況について伺う (2) 不法に設置されている大型看板を始めとする広告物への対応について伺う 本年度、6 月には一度終息宣言を行った麻疹が、11 月には再度患者発生の一報がなされている。さらには風疹患者も発生しているが、その対応について伺う 那覇市内には、様々な理由で管理できていない不良状態の空き地があるが、それに対する近隣住民からの相談件数及びその対応について伺う 現在、うちなーぐちの普及について本市ではハイサイ・ハイタイ運動がなされているが、他の取り組みについて伺う 那覇市内の小中学校において、市歌の指導について行われているのか現状を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 観光客の増加に伴う交通問題について 2 第一牧志公設市場再整備事業について 3 ウォーターフロントの整備について 4 安心安全なまちづくりについて 5 固定資産税に係る問題について	観光客の増加に伴う交通問題について、内閣府や県、県警察、那覇市、民間各業界団体などの関係機関が一同に集まって課題を整理し、対策を進めるような新たな会議体を設けるよう提案する。この提案について見解を問う 第一牧志公設市場再整備事業に関して、市場の方々から「仮市場移転に係る那覇市のサポートが足りず、困っている」旨の相談を受けている。市場の方々が「足りない、不十分」と感じている部分は、新たなサポートを追加で実施すべきではないか 私はこれまで、波の上うみそら公園や波の上ビーチ、ウォーターフロントの整備にもっと力入れて推進すべきとの提案をしてきたが、行政は一向に動こうとしない そもそも行政として波の上うみそら公園の具体的な整備計画や賑わいづくりの目標数値が無いこと自体が、私は非常に問題だと思うが、那覇市は問題だと思うか 「那覇高校前のバス停付近が、夕方以降になると暗くなり、学生や利用者が困っている。」と市民の皆様から相談がある。行政が負担して街灯を設置するなど対策を取れないか、見解を問う 今般の税額更正特別事業及び、那覇空港用地等地主会と那覇軍用地等地主会の皆様が長きにわたって強く要請している固定資産税の問題に関し、今月 7 日に行われた要請について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 教育行政について	(1) 先的那覇市長選挙において、城間幹子市長を応援する選挙ポスター（立て看板）が、那覇市立の学校敷地内に設置されていた。安全安心であるべき学校敷地内で、何者かが我が物顔で立て看板を勝手に設置することは、決して許されない。今回の事案については、学校の管理上、保安上、教育上のみならず、子どもたちに様々な悪影響を与えるのではないか。子どもたちへの影響について教育委員会はどう認識しているか問う (2) 学校施設の整備にもっと力を入れ、加速化すべきである。市立小中学校の体育館の整備等を含む生涯学習部施設課分の予算措置と今後の事業について問う
		7 福祉行政について	(1) 那覇市における、いわゆるミッシングワーカーの問題について、具体的な対策を問う (2) 避難行動要支援者対策事業をもっと推進すべきである。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	上 里 直 司 (なは立志会)	1 円鑑池の県 への移管につ いて	交渉の進捗について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 土地区画整 理事業につい て	(1) 本市における、土地区画整理法第 103 条第 2 項の解釈について伺う (2) 本市が施行者となった区画整理事業にお いて、隣地との境界が「双方に土地がはみ出 していた」ケースにおいて、土地造成事業を 行わなかったケースはあるのか (3) 議案第 110 号訴えの提起の裁判で違法と 判断されると市が被る不利益は何か
		3 名誉市民、 市民栄誉賞に ついて	(1) 本市の名誉市民は何名いるか (2) 名誉市民、市民栄誉賞受賞の功績を知るこ とのできる施設はあるのか
		4 モノレール 県庁前駅周辺 の再開発につ いて	琉球銀行本店の建て替え計画に伴い本市が関 わる事業はあるのか
		5 奥武山野球 場内の野球資 料館について	展示の工夫等で入場者を増やす努力をすべき ではないか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 消防行政について	(1) 平成 30 年 4 月 1 日から始まった違反対象物の公表制度について以下何う ① 那覇市内における防火対象物の件数と立入調査の進捗状況そして現時点での公表件数 ② 4 月以降に公表された物件の中で違反を是正しホームページ上から削除された例はあるか ③ 是正したいが経済的に困難な場合の相談が寄せられたことはあるか。その場合どのような対応をしているか (2) 今年 11 月 21 日福島県小野町で子ども 4 人を含む家族 7 人が火災で亡くなった。設置が義務付けられている住宅用火災警報器がなかったことが判明し早い段階で火災に気付かず、逃げ遅れた可能性があるという。住宅用火災警報器の普及について以下何う ① 沖縄県内の設置状況と那覇市全体に対する普及率について ② 普及促進についての現在の取り組み状況
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 防災行政について	(1) 那覇市防災対策検討女性チームが 4 年ぶりに設置された (11 月 27 日)。前回の取り組みの検証と今回の取り組みの内容を何う (2) 平成 30 年度新規事業として始まった避難行動要支援者対策事業の進捗状況を何う (3) 那覇市には避難行動要支援者名簿(約 4 万 7 千人)の他に「避難支援希望者名簿」がある。その登録人数と希望者への対応がどのようなになっているか何う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 地域防災について	那覇市天久の天久第6マンション付近に丘陵がある。その崖下付近に住む方々から、崖の上で住宅建設工事が進められ、崖崩れが起きないか不安である。対策を講じてほしいとの声があり、防災担当課に問い合わせたが、その後の対応を伺う
		4 緑地の管理について	那覇市上之屋北公園そばの緑地について、地域住民から、以前は道路沿いに花壇が整備されるなど行き届いていたが、最近では樹々が繁茂し家電の不法投棄なども見られ見苦しいという声がある。対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	前 泊 美 紀 (無所属の会)	1 中心市街地 活性化について	那覇市ぶんかテンブス館の、環境の変化に鑑みた機能や指定管理のあり方の見直しについて、どのように検討し結論づけたかを問う
		2 港まちづくりについて	平成 28 年 12 月定例会で質問した「クルーズ船第 2 バース整備と経済活性化」について、次の進捗を問う (1) 新港埠頭地区商業集積エリアの交通環境整備 (2) 「那覇港みなとまちづくりマスタープラン」の見直し
		3 地域と人材 育成について	那覇市真和志南地区生き生き人材育成支援施設（仮称）設備の今後のスケジュールと運営方針を問う
		4 子ども行政 について	沖縄県内に児童館が設置されて、今年で 40 年を迎えた (1) 那覇市における児童館の位置付けと役割、現状と課題及びビジョンを問う (2) 児童館 40 周年の本市の取り組みを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	宮平 のり子 (ニ ラ イ)	1 市長の政治 姿勢について	(1) 玉城県知事の訪米について 玉城県知事は、就任から 1 カ月余りで、ニューヨーク、ワシントンを訪れ国際社会に辺野古基地問題を発信した。米政府、議会関係者、米国市民に直接沖縄県民の民意を伝えた。また、ニューヨーク大学で講演、米国が当事者意識を持つよう訴えた。さまざまに評価されるが市長の見解を伺う (2) 辺野古新基地建設強行について 辺野古新基地建設のため、沖縄防衛局は埋立土砂の搬入を 12 月 3 日から始めた。この土砂投入計画は「埋立区域②－1」7 ヘクタールで埋立全体 160 ヘクタールの 4 %に充てられる予定。全体の土砂の量は 131 万 6500 m³で 10 トントラック 22 万台だという 工期も埋め立て工事に 5 年、軟弱地盤の改良工事に 5 年、施設整備に 3 年、13 年を要する。「一日も早い普天間の危険除去」にほど遠いうえに県の試算によれば、2 兆 5500 億円、費用がかかる計画になっている 12 月 14 日から辺野古海域への投入が始まるとしている。急きょ変更された名護市安和の民間栈橋での作業は法令違反で、県の指摘で一旦停止したもののすぐに搬入が再開されている。県民の強い反対も実力排除している 法治国家と言えない。何よりも対話を重視して、県知事は国との交渉を粘り強く続けているが、安倍政権は沖縄の基地負担軽減と言いつつも同時に裏腹な対応に、県民には信じがたい状況が続いている。民主主義を破壊し、生物多様性の宝庫である海を破壊、何よりも「一日も早い普天間の危険除去」も理論崩壊している。このような状況について市長の見解を伺う

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 男女参画行政について	(1) 「第4次那覇市男女共同参画計画」の進捗について、6月定例会に続いて伺う 第3次那覇市男女共同参画計画の期間は2008年(平成20年)度から2017年(平成29年)度の10年間が行動計画の期間となっている。今年度は第4次が市民に示されるべきである。「第4次那覇市男女共同参画計画」の進捗について伺う (2) 「なは女性センター」の名称について なは女性センターは、本市の男女共同参画施策の推進拠点に位置付けられている。女性行政は、男女共同参画社会基本法、条例により男女共同参画行政への名称変更、拡充してきた。合わせて、性の多様性に関する施策も「なは女性センター」が推進の役割を担ってきた。6月定例会では同センターで扱う業務が多様になっていることから、同センターの名称の変更について今後検討するという答弁であった。今後どのような流れをたどり検討されるのか伺う
		3 保育行政について	(1) 土曜日の保育について 「土曜日はなるべく保育所休ませてください」と言われた保護者の方から苦情と言うか、相談があった。土曜日の保育について現場の実態を伺う (2) 土曜日の勤務体制の把握について (3) きょうだい保育の実態・同一保育所入所件数・割合について
		4 投票所バリアフリーについて	9月30日の県知事選挙、10月21日那覇市長選挙が行われたが、那覇市内の投票所のバリアフリーの課題について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 小学校区まちづくり協議会について	城間市長は、選挙公約で「市内 36 の全小学校に校区まちづくり協議会の設置を推進します。」と謳っている 城間市長の決意を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 交通行政について	総合交通戦略の、次の項目についての取り組みについて問う (1) 自転車ネットワークの整備(駅・バス停留所・公共施設等を考慮したネットワーク、自転車道、バリアフリー等) (2) 駐輪場の整備(モノレール駅や主要なバス停留所、交通結節点等) (3) 自転車優先道路の位置づけ
		3 公園行政について	(1) 都市公園の役割と取り組みについて問う (2) 那覇市一人当たりの公園面積は幾らで、全国、沖縄県と比較して幾らか
		4 那覇空港南側船揚場整備事業について	これまでの取り組みと今後のスケジュールについて問う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 消防行政について 2 環境行政について 3 小 中 学 校 ICT 教育環境 整備について 4 保安灯行政について 5 地下駐車場 行政について 6 公園行政について 7 都市計画行政について	消防庁の指針で救急隊の目標値が 10 隊である。本市は 6 隊制であるが、今後の取り組みについて 地球温暖化対策は、グローバル問題として日本はパリ COP21 等で 2030 年までに 2013 年度比で 26% CO2 削減目標値にしているが、本市として CO2 削減の取り組みとして、どのように考えているのか 太陽光発電システム助成制度は本市は助成が行われていたが、現在は廃止になっている。「太陽光発電システム」の売電契約が 10 年間で契約が切れる。2019 年度問題として注目されている。家庭用蓄電池への助成について伺う ICT 教育環境整備については、重要である 2020 年には、新学習指導要領になる。「プログラミング教育」が導入される。9 月定例会にて「小学校 1 年生～4 年生」電子黒板・タブレットの補正予算が承認された。その後の取り組みについて伺う 市民が安心安全に散歩や帰宅等が出来る保安灯の十分な設置は重要である。保安灯の設置状況や予算について伺う 本庁舎が落成して今年で 6 年目になる 開庁と同時に地下駐車場が有料となり、市民から苦情があり今では当然のように利用されている。今後の取り組みについて、予算等も含めて伺う 弁ヶ岳公園が台風 24 号により、公園周辺の雨水路に草木がつまり、改善について声があり、公園内の散歩道も木が倒壊し利用できない状況である。公園内整備について伺う 首里北地区に地域住民から、公園がないとの声があり、大名児童館の空き地に公園の設置について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 環境政策について	(1) 平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間の計画期間で循環型社会形成推進地域計画を策定してあるが以下伺う ① 26 年度の事業系ゴミ、家庭系ゴミの排出量と 29 年度のそれとの比較そして最終目標 33 年度と 29 年度との比較 ② 26 年度の総資源化量と 29 年度のそれとの比較そして最終目標である 33 年度の数値 (2) 災害廃棄物処理計画の策定状況を伺う (3) 本市のし尿及び浄化槽汚泥処理はどのようなになっているのか
		2 子育て支援について	(1) 本市におけるブックスタート事業の現状を伺う (2) 本市のブックスタート事業の評価は高いと思うが、更に子どもの読書習慣づくりのきっかけをつくるため、絵本のセカンドブック事業を実施する自治体が増えているが、本市で検討したことはあるのか伺う
		3 通学路の安全対策について	寄宮 1 丁目の「タウンプラザかねひで」近くの通学路の交差点の安全対策について 都市みらい部、市民文化部、教育委員会におけるそれぞれの認識と取り組みを伺う
		4 ヘルプマークについて	県で実施しているヘルプマーク交付事業の本市においての交付状況、そして市民への周知の取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	永山 盛太郎 (ニ ラ イ)	1 福祉のまち づくりについて	(1) 本市のバリアフリー基本構想への取り組みについて伺う (2) 既存の公園バリアフリー取り組みについて伺う
		2 教育行政について	(1) 電子黒板について伺う ① 小中学校における電子黒板の導入状況について伺う ② 電子黒板の活用状況について伺う ③ 教師に対しての電子黒板の活用教育について伺う (2) 学校ブロック塀対策について伺う
		3 市政運営について	城間市長 2 期目の市政運営について伺う
			【答弁を求める者】 副市長、教育長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)